

## 2026 年度 職能別資格検定試験詳細規定

2026年3月1日  
公益社団法人日本山岳ガイド協会  
国際委員会

### 国際山岳ガイド

#### 2026 年度は新規募集を行いません。

#### ●職能範囲

国際山岳ガイド連盟加盟国の山岳全エリア。活動エリアの制限は、各国の法律による。

#### ●受験資格

本会の山岳ガイドステージⅡ資格およびにスキーガイドⅡ資格を取得後実務経験が8ヶ月以上（夏、冬）有する者。資格認定証の有効期限内であること。

かつ「IFMGA Platform Entry Requirements」(UIAGM プラットフォームにおける登山経験・技術基準表)の3.11、3.12の項を満たす者。

#### ●日程および検定料（全て税込表示）

講習・検定科目	検定地	日数	費用
書類審査（4月）			¥5,500
氷河地域におけるルートガイディング講習・検定（6-7月）	海外	10日	¥275,000
氷河地域におけるスキーガイディング講習・検定（3-4月）	海外	10日	¥275,000

#### ●受験の流れ（「山岳～国際ガイドフロー」を参照）

##### (1) 書類審査

- ・提出書類の整合性、登山歴（ガイド歴）の審査を行う。
- ・書類審査日から10日以内に合否通知を発送する。
- ・書類審査合格者のみが(2)の検定を受験できる。

##### (2) 海外スキー、海外ルートガイディング講習・検定

共に合格すれば国際山岳ガイド認定となる。

●必要な書類

【書類審査用】

- ①書類審査申請書（協会ホームページからダウンロード）
- ②ガイド歴報告書（協会ホームページからダウンロード）
- ③山岳遭難保険加入証書の写し（クライミングに対する保険）

【実技用】

- ①実技検定試験申込書
  - ②実技検定試験受験誓約書（本人と保証人の捺印必須）
- ※書類に不備があると再提出または不合格になることがある。

●有効年数

- ・書類審査合格後から6年度以内に全てを終了する必要がある。

●ガイド資格認定

合格した者へは、ガイド資格認定通知書を発行する。認定通知書受給者には所属団体を通じ新ガイド資格認定証（本会正会員証を国際山岳ガイドに変更したもの）、国際山岳ガイド証、国際山岳ガイドバッヂを付与する。尚、年会費は年度中の場合、資格間の差額のみ徴収する。

●資格更新について

- ・資格は3年間の資格有効期限内に4ポイント以上の資格更新研修を修了することで更新される。
- ・本会会員が新しい資格を取得すると、取得年度からの新しい有効期限が発生する。また、既に取得している他の資格は、新たに取得した資格の有効期限と同一の有効期限が付与される。

【更新の流れ】

- ①更新研修申請書＋研修費納入→②更新研修履修→③研修レポート提出→④更新研修修了証発行→
- ⑤4ポイント履修終了→⑥全てのガイド資格の更新

- 怪我、病気その他、特別な理由で有効年数内に試験または義務講習会が受けられない事態が発生した場合は、それを証明する書類（診断書または本人の理由証明書など）を提出し、本会試験・研修委員会の審議に諮り期間の延長が認められる場合がある。

- 結果通知に関しては合否のみであり、内容、詳細の問い合わせについては応じない。

- 当詳細規定に記載の金額は全て税込表示である。